人穴小 学校だより
ふれあい

令和２年11月27日
富士宮市立人穴小学校
第7号
ＴＥＬ５２－００４０

ホームページ　http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/e-school/14hitoana/

学校教育目標　『自らをきたえ　共に生きる子（自尊・他尊・共存）』

「学校と地域をつなぐ」

校長　柏木　武文

日ごとに寒気加わる季節となりました。校庭のイチョウやケヤキはすっかり葉が落ち、いつの間にか行く秋を惜しむ季節となりました。91日間と例年より長い２学期も、残すところ１ヶ月です。子供たちは、12月10日（木）のチャレンジマラソンに向け、練習をがんばっています。

11月21日（土）の「学習発表会」は、多くの保護者の皆様に参観していただき、誠にありがとうございました。例年でしたら、この時期には「学校と地域のつどい」が行われていたわけですが、運動会同様、コロナウイルス感染症の拡大防止対策のために「子供たちだけで行う学習発表会」となりました。伝統ある「学校と地域のつどい」ですから、地域の方々からは「残念だ」という声が出ているのかもしれません。子供たちにもそんな思いがあるのではないかと思います。

コロナ過の学校のあり方として、「マイナスばかりを考えない」「ピンチをチャンス」というのが学校の方針です。子供たちだけの学習発表会は、子供たちだけに目を向けられるという素晴らしさがあったと思います。いろいろな制約がある中、できることに工夫して取り組み、学びを止めることなく発表会に結び付けることができたと思います。今年の特別な学習発表会が子供たちの成長をじっくり味わっていただく機会になっていれば幸いです。

上の学年では「ひとあな学習」として、人穴地域に目を向けた学習がされています。これまでの人穴地域の開拓の歴史を知り、地域を大切にする心や、地域の発展を願う心を育てることを、地域と学校が一体になって行っていくことがこれからも大切だと思います。今年、「学校と地域のつどい」は、行うことができませんでしたが、子供たちの学習が「学校と地域の連携」の柱となれば素晴らしいと考えています。

新型コロナウイルス感染防止対応について

新型コロナウイルスの再拡大が全国規模で起きています。静岡県も今までにない増加の様子が見られます。本格的な冬を前に、インフルエンザの流行も合わせてとても心配な状況です。病院や繁華街などでのクラスター発生が注目を浴びていましたが、第３波と表現されている最近の傾向は、家族内での感染が増加要因の一つと考えられているようです。家庭内に持ち込む発端となる場所は、会食や職場など多岐に及んでいます。「ここを封じ込めれば感染が防げる」という発想では、感染防止は難しそうです。また、コロナ慣れしてしまった気持ちの緩みも一因と思えます。今求められる対応は、まず基本的な感染防止対策を確実に行うことになると思います。以下の点について、改めてご協力お願いいたします。

□児童の健康観察は丁寧にお願いします。検温は確実に行い、さらに気になるあらわれがないか、本人だけに任せずできるだけ複数の眼で見てください。
□同居家族の健康状況の把握をお願いします。健康観察票に同居家族の体調の記入欄を設けてあります。家庭内の状況を把握するのに役立ててください。子供だけでなくご家族の検温や健康チェックが習慣になるとよいと思います。
□マスクの着用・手洗いを、今まで同様徹底しましょう。学校では「手を洗おうね」「マスクはしてた方がいいかな」など、自ら気付いて感染防止を心がける子供が増えています。学校だけではなく、家庭や地域でも同じように行動できるとよいと思います。

今後も学校での子供たちや活動の様子、お知らせなどをホームページを利用して発信していきます。
ホームページは、ＵＲＬを入力しなくても、スマホなどで「人穴小」を検索していただけばすぐに見つかります。「新しい生活様式」を踏まえた家庭での取組などが掲載してありますので、ご利用ください。
また「学校の様子」のページには日々の活動の様子が写真と共に掲載されています。ご覧になり「いいね」と感じたら「👍」のマークのクリックをよろしくお願いします。